IMAGENICS

VGA to IMG.Link Converter

VIC-165

取扱説明書

お買い上げ頂きありがとうございます。

VIC-165は、パソコンなどのアナログ RGB 信号を IMG.Link に変換する機器です。
ご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読された上で、正しくお使いください。

Rev 1.5

目次

安全にお使いいただくために....2
1. 同梱物の確認....3
2. VIC-165の特長....3
3. 前面パネルの説明....4
4. コネクタパネルの説明....5
5. 接続....6
(1) VGA コネクタ のピン配置....6
(2) 接続例....6
6. 本体操作....7
(1) メニュー一覧....7
(2) メニュー詳細....8
(3) キーロック....11
(4) データバックアップ....11
7. ラックマウント....12
(1) 本機の準備....12
(2) MK-U104を使用する場合....12
(3) MK-H102と MK-100を使用する場合....13
8. 主な仕様....14

Copyright © 2017 イメージニクス株式会社 All rights reserved.

1. 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ることなく複製、改変、引用、転載することを禁止します。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本機のファームウェアおよびハードウェアに対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することを禁止します。
6. 乱丁本、落丁本の場合はお取替えいたします。当社、営業窓口までご連絡ください。

安全にお使いいただくために

本機は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、誤った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

絵表示について

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などにより死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けがをしたり、物的な損害を負う可能性がある内容を示しています。

△	注意(警告を含む)を促すものです。たとえば⚠は、「感電注意」を示しています。
⊘	禁止行為を示すものです。たとえば⊘は、「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示するものです。たとえば●は、「プラグを抜くこと」を示しています。

⚠警告

プラグを抜く	本機から煙や異音がでる、異臭がするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になることがあります。異常が発生したら直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社サービス窓口にご相談ください。 内部に水や異物を入れないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、当社サービス窓口にご相談ください。
火災 感電	本機は日本国内専用です。交流100 V、50 Hz または60 Hz の電源でご使用ください。交流200 V 系の電源でご使用になられる場合は、当社営業窓口にご相談ください。 電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。また、熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。万一、電源コードが傷んだら、当社営業窓口に修理をご依頼ください。 湿気や、油煙、湯気の多いところや直射日光のあたる場所に置かないでください。また、布などをかけたり、じゅうたんやふとんなどの柔らかい物の上に置いたりしないでください。 放熱をよくするため他の機器との間は、少し離してください。ラックなどに入れる場合は本機とラック面、他の機器との間にすき間をあけてください。 使用温湿度範囲を必ず守ってください。 電源プラグを抜くときにコードを引っ張ると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。プラグの部分を持って、抜き差ししてください。
接触禁止	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。
分解禁止 改造禁止	分解、改造などをしないでください。内部ディップスイッチの設定などをおこなう場合は、取扱説明書の当該ページをよく読んだ上で、電源を切り電源プラグを抜いてからおこなってください。また設定後は、内部に金属片などの異物を残さないように注意して本体を閉めてから電源プラグを挿し、電源を入れてください。内部の点検や修理は、当社の営業窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

プラグを抜く	移動させるとき、長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。 お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。 信号ケーブルを抜き差しする場合は、電源プラグを抜いて作業してください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと、感電したり故障の原因になることがあります。
濡れ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
安定した場所に置く	不安定な場所に設置すると、落下によりけがの原因になることがあります。
保管方法	保存温湿度範囲を必ず守ってください。
定期的に掃除する	長期間の使用において内部にほこりがたまり、火災や感電の原因になることがありますので定期的に内部の清掃をすることをお勧めします。当社営業窓口にご相談ください。 電源コンセントにプラグを長期間挿したままにしておくと、その間にほこりやゴミがたまってきます。さらに、空気中の水分などを吸湿すると、電気が流れやすくなるためプラグやコンセントが炭化し、ときには発火の原因になることがあります。事故を防ぐため定期的に電源プラグがしっかり挿し込まれているか、ほこりがついていないかなどを点検してください。

1. 同梱物の確認

VIC-165を箱から取り出したら、次のものが入っていることを確認してください。

同梱物	数量
VIC-165本体	1台
取扱説明書(本書)	1冊
電源コード	1本
スイッチカバー	1ヶ

万一、内容物に不足がある場合には当社営業窓口にご連絡ください。

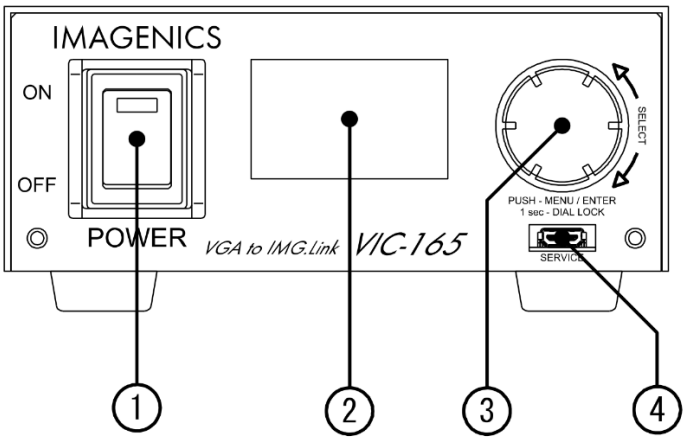
2. VIC-165の特長

VIC-165は、パソコンなどのアナログ RGB 信号を IMG.Link に変換する機器です。

VIC-165の主な特長は次の通りです。

- 1U クォーターサイズで小型です。
- アナログのステレオ音声を重畳できます。
- アナログの映像信号、音声信号をアクティブスルー出力できます。
- 本体前面の液晶とダイアルで設定・確認できます。
- バックアップメモリにより、電源を切る直前の状態を保持します。
- 電源回路を内蔵しています。

3. 前面パネルの説明



① 電源スイッチ(POWER)

電源プラグをコンセントに挿し、このスイッチを ON 側にすることにより電源ランプ(緑のランプ)が点灯し電源が入ります。

② 液晶ディスプレイ

本機の各種設定のためのメニューが表示されます。

SLEEP タイマーにより、バックライトを消灯することができます。

③ ファンクションダイアル

メニュー操作を行います。

メニューが表示されていないとき

短押し → メニューを表示します。

長押し → キーロックの設定・解除をします。

回転 → 使用しません。

メニューが表示されているとき

短押し → カーソル位置の項目を選択します。

長押し → メニューを抜けて初期表示に戻ります。

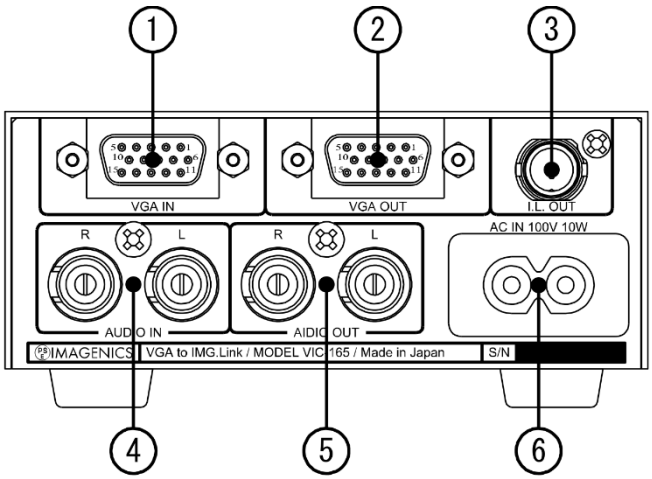
回転 → カーソル移動、選択項目のパラメータ変更などを行います。

④ サービスポート(SERVICE)

本機のファームウェア書き換えの際に使用します。

通常は使用しません。

4. コネクタパネルの説明



① 映像入力端子(VGA IN)

アナログ映像信号を入力します。

② 映像スルー出力端子(VGA OUT)

VGA IN の信号をアクティブスルー出力します。

③ IMG.Link 出力端子(I.L. OUT)

IMG.Link 信号が出力されます。

IMG.Link について

本機の IMG.Link 出力信号は IMG.Link 受信器と組み合わせると、1 本の同軸 BNC ケーブルで映像音声を最大 210 m 伝送できます。IMG.Link 受信器には当社製 CRO-URS2A や、DCE-U1RX などが使用できます。受信機の取扱説明書もあわせてご覧ください。IMG.Link 信号の接続には必ず 75Ω BNC 同軸ケーブルを使用してください。(50Ω BNC 同軸ケーブルは短距離でも使用できません。)

次の表は各同軸ケーブルの仕様ごとに延長できる距離の目安です。IMG.Link の伝送距離はご使用になられる映像の解像度などの影響は受けませんが、実際に設置される場所のノイズ環境などにより表内の数値より短くなる場合があります。

同軸ケーブル仕様(カナレ電気製)	最大延長距離	平均的実力距離
L-3C2V	30 m	約 40 m
L-3CFB	60 m	約 80 m
L-5C2V	60 m	約 80 m
L-5CFB	110 m	約 130 m
L-7CFB	150 m	約 180 m
L-7CHD	210 m	約 230 m

※最大延長距離は、ケーブルをリール状に巻いた時の保証値です。
平均的実力距離は、当社内での実測による平均値で±10 m 程度の偏差を含みます。

④ 音声入力端子(AUDIO IN L/R)

アンバランス ステレオのアナログ音声信号を入力します。

※ L チャンネルのみ接続した場合は、内部で R チャンネルに分配されます。

⑤ 音声スルー出力端子(AUDIO OUT L/R)

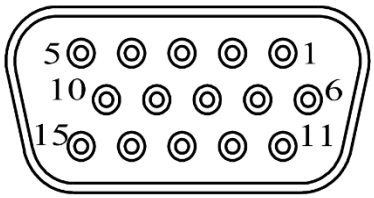
AUDIO IN の信号をアクティブスルー出力します。

⑥ 電源(AC IN)

AC 100V、50Hz または 60Hz の電源に接続してください。

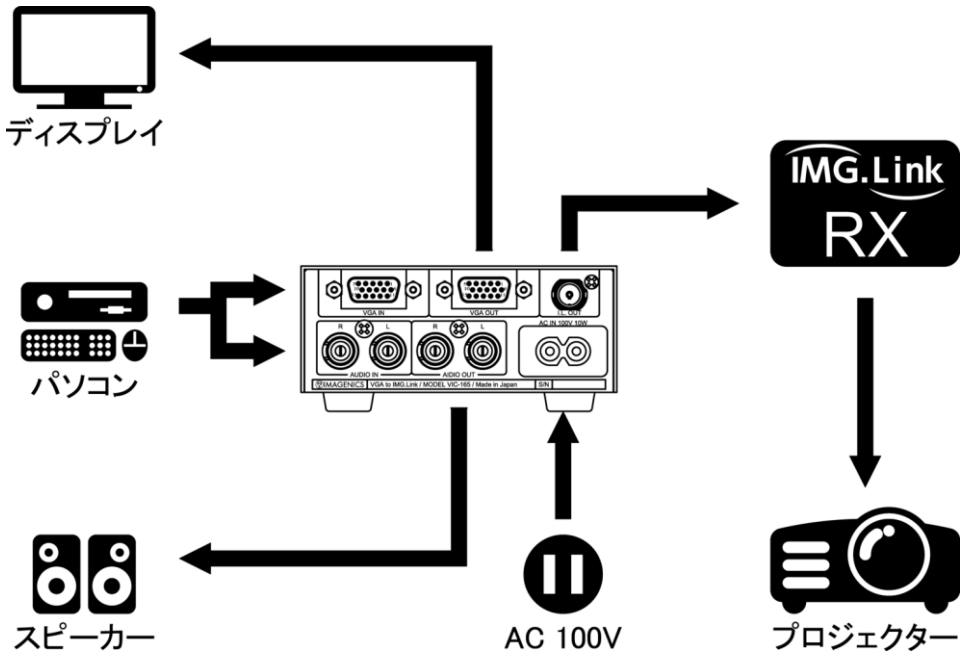
5. 接続

(1) VGA コネクタ のピン配置



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Red	6	Red GND	11	ID0
2	Green	7	Green GND	12	SDA
3	Blue	8	Blue GND	13	H Sync
4	ID2	9	DDC 5V	14	V Sync
5	GND	10	Sync GND	15	SCL

(2) 接続例



6. 本体操作

(1) メニュー一覧

TOP	トップメニュー	
├──EXIT	メニューを終了	
│		
├──AUTO.ADJ	画角自動調整	①
│		
├──MAN.ADJ	画角手動調整	②
│ ├──RST.ADJ	調整値初期化	②-a
│ ├──WIDTH	水平解像度設定	②-b
│ ├──HEIGHT	垂直解像度設定	②-c
│ ├──POS.X	水平方向の取り込み開始位置設定	②-d
│ ├──POS.Y	垂直方向の取り込み開始位置設定	②-e
│ ├──CLOCK	水平総クロック数設定	②-f
│ ├──PHASE	クロック位相調整	②-g
│ ├──CLAMP	クランプ位置調整	②-h
│ └──ASPECT	アスペクト設定	②-i
│		
├──CONFIG	本機の動作設定	
│ ├──INPUT	VGA入力の動作設定	③
│ │ ├──HV_TERM	同期信号の終端設定	③-a
│ │ └──EDID	EDIDの設定	③-b
│ │ ├──SOURCE	EDIDのコピー元選択	
│ │ ├──#1	プリセットの第1解像度	
│ │ └──#2	プリセットの第2解像度	
│ ├──IMGLNK	IMG.Link出力の設定	④
│ │ ├──FORMAT	出力フォーマット	④-a
│ │ ├──OSD	オンスクリーン表示	④-b
│ │ └──NO-SIG	入力無信号時の動作設定	④-c
│ │ ├──OUT.EN	出力イネーブル	
│ │ ├──RED	出力映像の色(赤)	
│ │ ├──GREEN	出力映像の色(緑)	
│ │ └──BLUE	出力映像の色(青)	
│ ├──LCD	本体液晶ディスプレイの設定	⑤
│ │ ├──DISP	アイドル時に表示する情報の設定	⑤-a
│ │ ├──CONT	液晶のコントラスト	⑤-b
│ │ ├──BRIGHT	液晶バックライトの明るさ	⑤-c
│ │ └──SLEEP	バックライト消灯までの時間	⑤-d
│ └──INIT	すべての設定を出荷状態に初期化	⑥
│		
└──ROM Ver.	ROMバージョンの確認	⑦
├──MODEL	本機の型式	
├──VER.	ROMのバージョン	
├──DATE	更新日	
└──SUM	チェックサム	

※ 番号が表示されている項目は、次項「(2)メニュー詳細」の説明箇所を示しています。

(2) メニュー詳細

① TOP＞AUTO.ADJ

画角を自動調整します。

映像信号を入力した状態で このメニューを実行すると、解像度を判定し 取り込み開始位置、水平総クロック数、クロック位相などを自動で調整します。

※ この機能は補助的なものであり、すべての解像度を正しく判定することを保証するものではありません。

② TOP＞MAN.ADJ

画角を手動調整します。

これらの設定値は解像度ごとに記憶されます。

a. RST,ADJ

調整値を初期値に戻します。

映像信号を入力した状態で このメニューを実行すると、この映像信号に関する調整値を初期化します。

b.WIDTH

水平解像度を設定します。

c.HEIGHT

垂直解像度を設定します。

d.POS.X

水平方向の取り込み開始位置を設定します。

概ね、水平同期幅と水平バックポーチを合わせた数値です。実際の表示を確認して調整してください。

e.POS.Y

垂直方向の取り込み開始位置を設定します。

概ね、垂直同期幅と垂直バックポーチを合わせた数値です。実際の表示を確認して調整してください。

f.CLOCK

水平の総クロック数を設定します。

モアレが発生する場合は、この設定を調整してください。

g.PHASE

クロック位相を設定します。

ノイズが発生する場合は、この設定を調整してください。

h.CLAMP

クランプ位置を設定します。

ミスクランプが発生する場合は、この設定を調整してください。

i.480ASP

解像度が480i／480p のときのアスペクトを設定します。

設定値		初期値
AUTO(SQ)	: ID-1のアスペクト情報に従います。ID-1がないときは4:3になります。	AUTO(SQ)
AUTO(WD)	: ID-1のアスペクト情報に従います。ID-1がないときは16:9になります。	
4:3	: 4:3に固定します。	
16:9	: 16:9に固定します。	

③ TOP＞CONFIG＞INPUT

VGA 入力に関する設定をします。

a. HV_TERM

VGA 入力の同期信号を75Ω 終端するかを設定します。通常は OFF で使用してください。

入力ケーブルが長い場合など、映像が乱れるときに ON すると改善することがあります。

設定値		初期値
OFF	：75Ω 終端しません。	OFF
ON	：75Ω 終端します。	

b. EDID

VGA 入力の EDID を設定します。

項目	設定値	初期値
SOURCE	PRESET ：本機内蔵の EDID を使用します。 COPY. VGA ：VGA 出力端子に接続された機器からコピーします。 COPY. IL ：IMG.Link 受信機に接続された機器からコピーします。 ※ EDID を 他の機器からコピーした場合は、内容がアナログ用に修正されます。	PRESET
#1	SOURCE で PRESET を選択したときの第1希望の解像度を選択します。	1920x1080p
#2	SOURCE で PRESET を選択したときの第2希望の解像度を選択します。	1280x720p
選択可能な本機内蔵の EDID PRESET 1024×768p、**1280×720p**、1280×768p、1280×800p、1280×1024p、1360×768p、1366×768p、1400×1050p、 1440×900p、1600×900p、1600×1200p、1680×1050p、1920×1080i、**1920×1080p**、1920×1200p、2048×1080p		

④ TOP＞CONFIG＞IMGLINK

IMG.Link 出力に関する設定をします。

a. FORMAT

IMG.Link 受信機に通知する信号フォーマットを選択します。

設定値		初期値
AUTO	：IMG.Link 受信機に接続された機器の EDID に合わせます。	AUTO
DVI	：DVI 信号であると通知します。	
HDMI	：HDMI 信号であると通知します。	

b. OSD

IMG.Link 受信機に信号情報をオンスクリーン表示するように要求します。

設定値		初期値
OFF	：オンスクリーン表示を要求しません。	OFF
ON	：オンスクリーン表示を要求します。	
※ 実際のオンスクリーン表示は IMG.Link 受信機の仕様によります。		

c. NO-SIG

VGA 入力が無信号のとき、本機で発生させた映像に載せて音声を送ることができます。

項目	設定値	初期値
OUT. EN	OFF ：映像を出力しません。 ON ：640x480@60p の映像信号を出力します。	OFF
RED	無信号時に出力する映像の背景色(赤)を設定します。(000～255)	000
GREEN	無信号時に出力する映像の背景色(緑)を設定します。(000～255)	000
BLUE	無信号時に出力する映像の背景色(青)を設定します。(000～255)	064

TOP＞CONFIG＞LCD

本体前面の液晶ディスプレイに関する設定をします。

a. DISP

メニュー非表示中に液晶ディスプレイに表示する情報を選択します。

設定値		初期値
OFF	：何も表示しません。バックライトも消灯します。	STATUS
STATUS	：VGA 入力の状態と IMG.Link 出力の状態を表示します。	
SIG.INFO	：VGA 入力の信号情報を表示します。	

b.CONT

液晶ディスプレイのコントラストを設定します。

設定値	初期値
0が最も薄く、数値が大きいほど濃くなります。(0～31)	8

c.BRIGHT

液晶ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。

設定値	初期値
1が最も暗く、数値が大きいほど明るくなります。(1～31)	31

d.SLEEP

液晶ディスプレイのバックライトを消灯するまでの時間を設定します。

設定値		初期値
OFF	：常時点灯します。	OFF
1min～255min	：無操作状態が設定された時間続くと消灯します。	

⑥ TOP＞CONFIG＞INIT

すべての設定を出荷状態に初期化します。

「YES」と表示されるまでダイアルを右に回し、その状態でダイアルを押すと初期化されます。

「YES」以外の状態でダイアルを押すと、初期化はキャンセルされます。

⑦ TOP＞ROM Ver.

本機のファームウェアバージョンを表示します。

(3) キーロック

キーロック機能により、本機の操作を禁止することができます。

メニューが表示されていないときに、ダイアルを1秒以上長押しすると、キーロック状態を変更することができます。

キーロックの状態は液晶の右上に鍵マークで表示されます。

鍵マークなし ：キーロック解除(操作許可)

鍵マークあり ：キーロック設定(操作禁止)

(4) データバックアップ

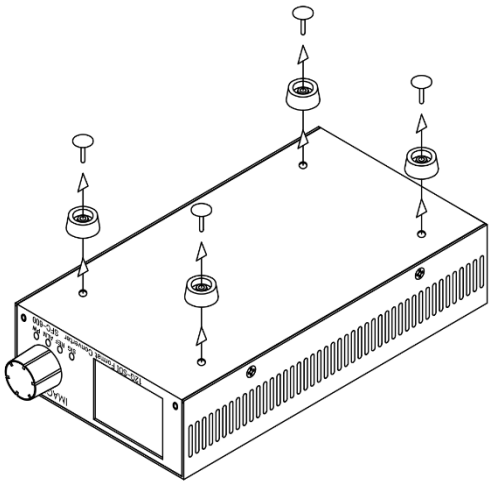
本機では、各設定変更後に自動で設定値を記憶します。

7. ラックマウント

MK-U104(別売)を使用すると、弊社の1U クォーターサイズ機器を4台までラックマウントできます。
MK-H102(別売)を使用すると、弊社の1U クォーターサイズ機器を2台まで弊社の1U ハーフサイズに変換することができます。
MK-H102を使用してラックマウントするには、MK-100(別売)が必要です。

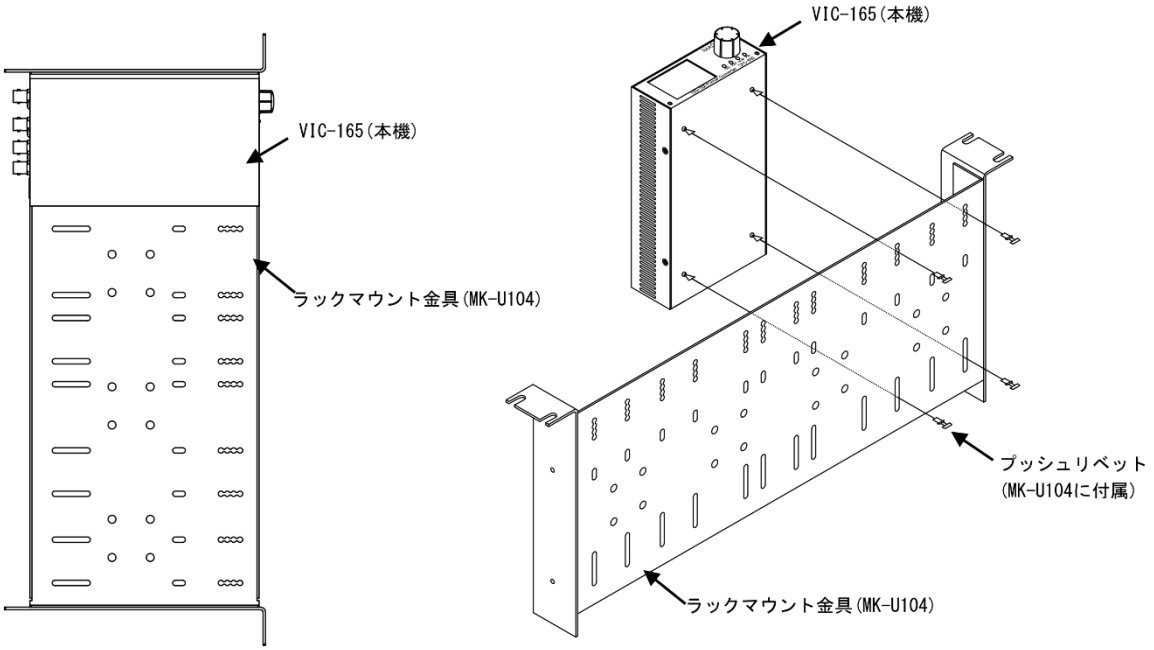
(1) 本機の準備

底面のプラ足4個を外します。(プラ足中央のピンを引き抜くと外れます)



(2) MK-U104を使用する場合

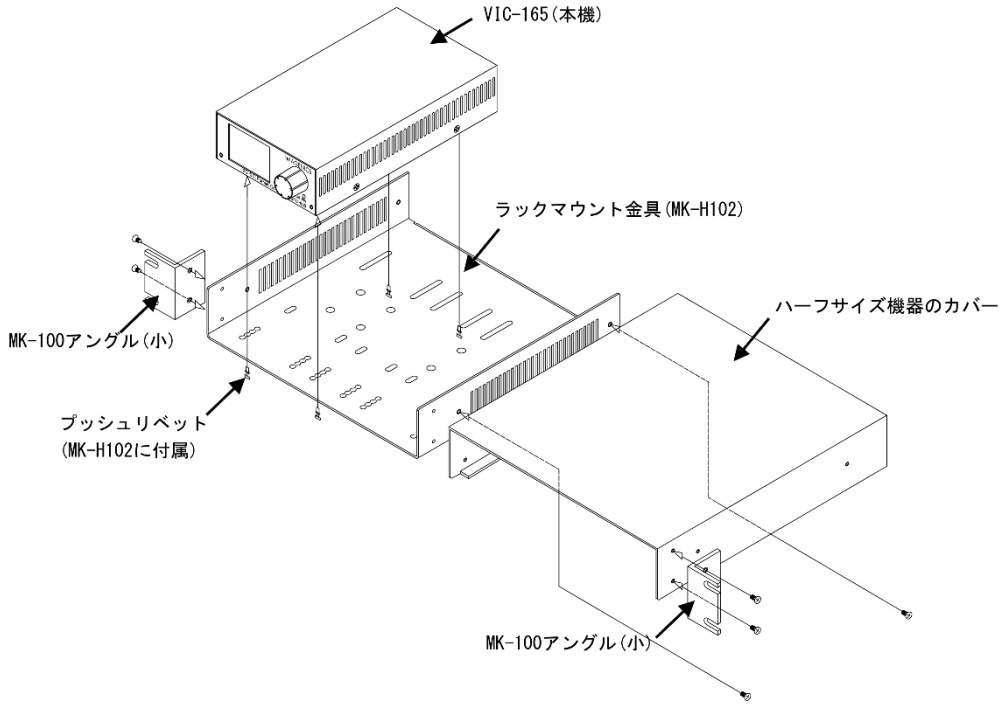
下図を参考にラックマウント金具を取り付けてください。



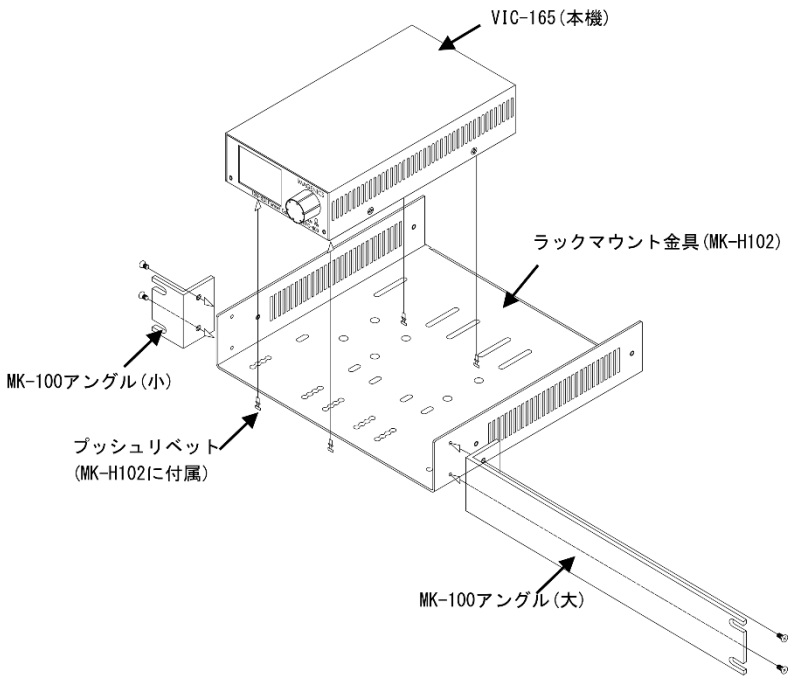
(3) MK-H102と MK-100を使用する場合

下図を参考にラックマウント金具を取り付けてください。

●弊社の1U ハーフサイズ機器と連結する場合



●弊社の1U ハーフサイズ機器と連結しない場合



8. 主な仕様

映像入力	: RGB 信号	: 0.7 V(p-p) 75 Ω (同期付加時 : 1.0 V(p-p))
	同期信号	: TTL
	コネクタ	: HD-Dsub 15 pin 1 系統
映像スルー出力	: RGB 信号	: 0.7 V(p-p) 75 Ω (同期付加時 : 1.0 V(p-p))
	同期信号	: TTL
	コネクタ	: HD-Dsub 15 pin 1 系統
音声入力	: 不平衡ステレオ	: 最大 2.45 V(rms) (≒ +10 dBu) 50 kΩ
	コネクタ	: RCA ピンジャック 2 ch 1 系統
音声スルー出力	: 不平衡ステレオ	: 最大 2.45 V(rms) (≒ +10 dBu) 150 Ω
	コネクタ	: RCA ピンジャック 2ch 1系統
IMG.Link 出力	: オリジナル再エンコード方式によるデジタルシリアル信号 1 系統 1.0 V(p-p) 75 Ω	
	コネクタ	: BNC 1 系統
映像サンプリング	: 25～165 MHz RGB 各 8 bit	
音声サンプリング	: 48 kHz 24 bit/ch	
電源	: AC 100 V 50 Hz または 60 Hz	
消費電力	: 10 W 以下	
質量	: 約 0.7 kg	
動作温湿度範囲	: 0 ℃ ～ 40 ℃ 20 %RH ～ 90 %RH (ただし結露なきこと)	
保存温湿度範囲	: -20 ℃ ～ 70 ℃ 20 %RH ～ 90 %RH (ただし結露なきこと)	
外形寸法	: 幅 100 mm 高さ 40 mm 奥行き 180 mm (突起物含まず) (※1)	
付属品	: 電源コード 1 本 (※2) 、スイッチカバー 1 ヶ	

※1 ラックマウントするには 別売の MK-U104 または MK-H102と MK-100 が必要です。

※2 付属の電源コードは AC 100 V 用です。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また、取扱説明書、仕様書は当社ウェブサイトにて最新のものをご確認ください。

製造元 イメージニクス株式会社

製品に関するお問い合わせは下記サポートダイヤルにて承ります。

フリーダイヤル(全国共通) 0120-480-980

東日本サポート 03-3464-1418 西日本サポート 06-6358-1712

営業本部	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-16-7 ハイウェービル 6F	
	TEL 03 (3464) 1401	FAX 03 (3477) 2216
大阪営業所	〒534-0025大阪市都島区片町2-2-48 JR 京橋駅 NK ビル3F	
	TEL 06 (6354) 9599	FAX 06 (6354) 9598
福岡営業所	〒812-0013福岡市博多区博多駅東1-18-25 第5博多偕成ビル3F	
	TEL 092 (483) 4011	FAX 092 (483) 4012
本社	〒182-0022東京都調布市国領町1-31-5	
Website	http://imagenics.co.jp/	

この印刷物は再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。